

各位

2026 年8月 24 日
オリエンタルチェーン工業株式会社
(東証スタンダード:6380)

新規事業構想の推進に関するお知らせ

当社は、既存基盤事業である産業用チェーン製造事業の高度化に加え、中長期的な企業価値向上を目指した新たな成長戦略として、「3つの新規事業構想」を推進することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 新規事業構想の目的

当社はこれまで、伝動用ローラチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット類及び金属射出成形部品の製造販売を主たる事業として、精密加工技術および耐久性設計ノウハウを強みとして、高品質な製品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

しかしながら、持続的な企業価値向上と資本市場での評価向上を実現するためには、既存の産業用チェーン市場における製造・販売にとどまることなく、新規事業分野への参入も視野に、構想を検討しておりました。

今般、これまで培ってきた技術を基盤に、産業用チェーンの高度化を図るとともに、新たな高成長・高付加価値領域へ事業を拡張するため、「**既存製造業の進化 × 新領域への事業拡張 = 価値最大化**」を基本コンセプトとし、既存基盤事業に加えて、新たに3つの事業構想を推進することといたしました。これにより、持続的な企業価値向上と資本市場における評価向上の実現に取り組んでまいります。

2. 新規事業構想を加えた事業体系の概要

(1) 産業用チェーンの高度化(既存基盤事業)

これまで培ってきた技術を基盤に、半導体搬送やデータセンター冷却配管支持など、高精度・特殊環境向け「高付加価値製品」の充実を加速させ、更なる安定的なキャッシュフロー創出を図ります。

(2) 3つの新規事業構想の主な取り組み・戦略

新規事業構想	主な取り組み・戦略
産学連携・ESG 経営推進 (非財務価値の向上)	● 大学、専門研究機関との共同研究体制を構築し、新素材・新技術を獲得・実用化 ● 環境・社会問題への適応力を高め、環境規制や供給リスク等の長期的リスクを排除・低減 ● 非財務価値(ESG 評価)を高め、資本市場の信頼と評価を確立
AI・デジタル・フィジカル AI・ロボティクス (高成長・高シナジー)	● 成長著しい AI サーバー、半導体製造装置等分野へ参画し、事業ポートフォリオの多角化・高成長化を実現 ● 自社工場への AI 導入による、製造原価の低減と設計業務を効率化・高度化 ● 当社固有技術と先端技術の融合により、強力なシナジー効果を発揮
ファイナンス&グローバルビジネス (最大成長)	● 中国およびアジア市場を主軸に、海外販売網を拡充(欧米市場も視野) ● グローバル企業との連携および機動的な資金調達・運用による資本効率(ROE)の向上

3. 今後の見通し

本件推進に伴い、自社工場への AI 活用、産学連携による技術開発、海外販売網の構築等を段階的に実施していますが、当期業績への影響につきましては現時点では精査中であります。

今後、公表すべき事項又は業績予想の修正が必要となる事項が判明した場合には、東京証券取引所の規則等に基づき速やかに適時開示を行ってまいります。

新規事業構想推進の補足説明資料につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

産業用チェーンから、 次世代高付加価値領域へ。

新規事業構想推進補足資料

オリエンタルチエン工業株式会社

BUSINESS STRATEGY

既存基盤事業の高度化に加え、3つの新規事業構想で、企業価値を最大化する

培ってきた超精密・耐久技術を再定義し、産業用チェーンの高度化と3つの新規事業構想を同時に推進します。

01

産業用チェーンの高度化

- 半導体搬送 / データセンター冷却配管支持など
- 高精度・特殊環境向け「高付加価値製品」へシフト

02

3つの新規事業構想

- 産学連携による最先端素材開発・ESG推進
- フィジカルAI×ソフトAI/デジタルで設計・製造を高度化
- 海外販売網の倍増によるグローバル連携

03

持続的な企業価値向上

- アジア・中国・欧米で販売網を拡充
- グローバルニッチトップメーカーへ
- ESG投資を呼び込み、資本市場評価を向上

新構想におけるOCM事業一覧

既存基盤事業

【安定収益・技術源泉】

産業用チェーン製造事業

- ・これまでの超精密加工技術および耐久性設計のノウハウを蓄積した既存事業
- ・高品質・多品種対応のモノづくりによる、安定的なキャッシュフローの創出

新構想 ①

【強固な基盤・非財務価値】

産学連携・ESG経営推進

- ・大学・専門研究機関との強固な共同研究体制構築による新素材・新技術の獲得
- ・E/S/Gのロードマップ策定と推進、グリーン調達推進による長期リスクの排除

新構想 ②

【高成長・高シナジー】

AI・デジタル・フィジカルAI・ロボティクス

- ・AIサーバーや半導体製造装置、データセンター冷却等の周辺高付加価値部材の設計・供給
- ・搬送システム・産業ロボット向けの超精密チェーン技術の導入

新構想 ③

【グローバル・最大成長】

ファイナンス&グローバルビジネス

- ・中国およびアジア市場を主軸としたグローバルな海外販売網の抜本的拡充
- ・グローバル企業との事業提携、および機動的な資金調達と運用を通じた資本効率向上

FINANCIAL GOALS (TRENDS & TARGETS IMAGE)

中長期目標

財務指標・KPI	現状（既存ベース）	中期ターゲット（3～5年）	長期ターゲット（2030年目標）
売上高（全体）	・既存の産業用チェーン製造事業を中核とした安定期	・新規事業構想②（AI・ロボティクス）および③（海外販売網拡大）が寄与を開始し、売上拡大へ	・新規事業構想比率を全体の過半数（50%超）にシフト、グローバル展開で飛躍的成長
営業利益率（%）	・原材料・エネルギー価格の影響を受けやすい構造	・自社スマートファクトリー化（新構想②）に伴う原価低減と、高付加価値製品の販売比率上昇	・自動設計AI・生産の最適化完了、特許技術を搭載したグローバルニッチトップのポジションを確立 営業利益率10%以上を獲得
ROE（自己資本利益率）	・既存アセットの資本回転率重視	・高付加価値化による純利益拡大、遊休資産のポートフォリオ最適配分（新構想③）	・ESG投資（新構想①）の呼び込みおよび効率的資本循環により、ROE8%以上の水準を安定的に実現

| INVESTOR Q&A

想定質疑応答 (Q&A)

投資家・アナリストからの主要論点への回答

Q グローバル展開における優先市場と戦略は？

A 中国を含むアジア市場を主軸に、欧米市場も含めた販売網を拡充します。グローバル企業との連携を通じ、**グローバルニッチトップメーカー**としてのポジションを確立します。

Q ESGおよび資本市場評価への具体的な打ち手は？

A 産学連携による**環境配慮素材の開発**、AI活用による**省エネ生産**、透明性の高い**ガバナンス開示**を推進し、ESG投資家の呼び込みと資本市場での評価向上を実現します。

Q 3つの新規事業構想の収益貢献はいつ頃を見込むか？

A 産学連携による素材開発とESG推進、フィジカルAI/ロボティクスによる設計・製造改革、資本調達と海外網の倍増を並行で進め、**中長期的に段階的な収益貢献**を見込みます。